

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 パイオラックス

コード番号 5988 URL <https://www.piolax.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 聡

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 福田 俊宏 TEL 045-577-3880

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無： 無

決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	15,761	4.4	266	△30.5	394	28.5	125	△2.0
2026年3月期第1四半期	15,092	△4.1	383	△40.9	306	△65.8	128	△82.2

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 863百万円 (—%) 2026年3月期第1四半期 △2,008百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	5.21	—
2026年3月期第1四半期	4.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	100,182	65,372	64.0
2026年3月期	101,415	66,144	63.9

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 64,077百万円 2026年3月期 64,854百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	39.00	—	53.00	92.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	39.00	—	53.00	92.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	1.5	1,500	2.0	1,500	3.2	700	—	27.45

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
(注) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	37,054,100株	2026年3月期	37,054,100株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	13,003,582株	2026年3月期	12,787,708株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	24,155,623株	2026年3月期1Q	27,582,886株

(注)

1. 当社は、役員向け株式報酬制度を導入しており、信託に残存する自社の株式は、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(前第1四半期連結会計期間 87,376株、当第1四半期連結会計期間 87,376株)

2. 当社は、従業員向け株式報酬制度を導入しており、信託に残存する自社の株式は、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(前第1四半期連結会計期間 63,919株、当第1四半期連結会計期間 62,400株)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(参考資料)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景として、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、物価上昇やエネルギー価格の高止まり、中東情勢の緊迫化等により先行き不透明な状況が続いております。世界経済につきましても、景気回復の動きが続く一方で、中東情勢をはじめとした終わりの見えない地域紛争を背景とした地政学リスクの高まりなど、経済の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要なお取引先である自動車業界につきましては、対前年同期比で生産台数・販売台数ともに増加しており、緩やかに回復しておりますが、中国自動車市場における日系自動車メーカーの競争激化や中国メーカーを中心としたEV化へのシフト・電動化の進展など、依然として厳しい状況が続いております。

このような需要環境のもと当社グループといたしましては、お取引先からのニーズを的確に捉え、日系のお取引先に加え非日系のお取引先にもグローバルに拡販活動を継続的に推進したことに加え、円安による増収効果もあり、売上高は15,761百万円と、前期比669百万円(4.4%)の増収となりました。

一方利益面におきましては、増収効果はあったものの、原材料・部品価格の上昇や人件費、物流費等の各種コスト増加の影響を吸収しきれず、営業利益は266百万円(前期比30.5%減)となりました。また、前年同期に計上した支払手数料が当期は発生しなかったこと等により、経常利益は394百万円(前期比28.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は125百万円(前期比2.0%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(自動車関連等)

グローバルな拡販活動を推進したことに加え、円安による増収効果もあり、売上高は14,384百万円(前期比4.1%増)となりました。一方利益面においては、収益改善活動をグループ一丸となって推進いたしましたが、原材料・部品価格の上昇や人件費、物流費等の各種コスト増加の影響を吸収しきれず、営業利益は475百万円(前期比22.7%減)となりました。

(医療機器)

拡販を積極的に推進した結果、売上高は1,376百万円(前期比8.5%増)となりました。一方利益面においては、収益改善活動を推進した結果、営業利益は45百万円(前期比6.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の資産合計は、受取手形及び売掛金の減少等により1,232百万円減少し100,182百万円となりました。

負債合計は、引当金の減少等により461百万円減少し34,810百万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金の減少等により771百万円減少し65,372百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2026年5月12日の「2026年3月期 決算短信」で公表した数値から変更しておりません。

なお、本業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,192	26,160
受取手形及び売掛金	12,925	12,464
電子記録債権	1,815	1,873
有価証券	152	153
商品及び製品	6,681	6,639
仕掛品	2,661	2,690
原材料及び貯蔵品	3,286	3,377
未収還付法人税等	244	260
その他	4,282	3,581
貸倒引当金	△103	△99
流動資産合計	58,140	57,101
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,995	15,815
機械装置及び運搬具（純額）	7,761	7,648
工具、器具及び備品（純額）	2,241	2,238
土地	5,942	5,931
リース資産（純額）	542	525
建設仮勘定	3,351	3,312
有形固定資産合計	35,836	35,471
無形固定資産		
その他	1,458	1,428
無形固定資産合計	1,458	1,428
投資その他の資産		
投資有価証券	4,670	4,793
その他	1,314	1,392
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	5,980	6,181
固定資産合計	43,275	43,081
資産合計	101,415	100,182

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,152	3,090
短期借入金	24,171	24,000
未払法人税等	279	200
引当金	852	441
その他	5,086	5,250
流動負債合計	33,541	32,982
固定負債		
役員株式給付引当金	150	151
株式給付引当金	46	49
退職給付に係る負債	485	504
資産除去債務	37	37
その他	1,008	1,083
固定負債合計	1,729	1,827
負債合計	35,271	34,810
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,960	2,960
資本剰余金	2,572	2,572
利益剰余金	74,625	73,456
自己株式	△29,381	△29,722
株主資本合計	50,777	49,268
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	906	990
繰延ヘッジ損益	△1	△2
為替換算調整勘定	13,213	13,861
退職給付に係る調整累計額	△41	△40
その他の包括利益累計額合計	14,077	14,808
非支配株主持分	1,289	1,295
純資産合計	66,144	65,372
負債純資産合計	101,415	100,182

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	15,092	15,761
売上原価	11,827	12,368
売上総利益	3,264	3,392
販売費及び一般管理費	2,880	3,125
営業利益	383	266
営業外収益		
受取利息	110	67
受取配当金	124	156
持分法による投資利益	0	1
その他	52	115
営業外収益合計	288	340
営業外費用		
支払利息	53	86
固定資産廃棄損	1	2
デリバティブ評価損	17	72
賃貸収入原価	1	1
為替差損	22	6
支払手数料	201	—
その他	68	43
営業外費用合計	365	213
経常利益	306	394
特別損失		
早期割増退職金	210	—
特別損失合計	210	—
税金等調整前四半期純利益	96	394
法人税等	△30	255
四半期純利益	126	138
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	128	125

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	126	138
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69	83
繰延ヘッジ損益	0	△1
為替換算調整勘定	△2,204	641
退職給付に係る調整額	—	1
その他の包括利益合計	△2,134	724
四半期包括利益	△2,008	863
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,937	857
非支配株主に係る四半期包括利益	△70	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,013百万円	1,047百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	13,823	1,268	15,092
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	13,823	1,268	15,092
セグメント利益	615	42	657

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	657
全社費用(注)	△275
セグメント間取引消去	3
その他の調整額	△2
四半期連結損益計算書の営業利益	383

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2026年4月1日 至2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	14,384	1,376	15,761
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	14,384	1,376	15,761
セグメント利益	475	45	521

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	521
全社費用（注）	△258
セグメント間取引消去	3
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	266

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な該当事項はありません。

(参考資料)

[所在地別セグメント情報]

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日 至2025年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)	消去 又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	6,584	3,883	4,190	434	15,092	—	15,092
(2) セグメント間の内部売上高	972	31	303	0	1,309	△1,309	—
計	7,556	3,915	4,494	434	16,401	△1,309	15,092
営業利益又は営業損失(△)	152	336	194	△44	638	△254	383

II 当第1四半期連結累計期間(自2026年4月1日 至2026年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)	消去 又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	6,794	4,029	4,361	574	15,761	—	15,761
(2) セグメント間の内部売上高	1,167	30	257	0	1,455	△1,455	—
計	7,962	4,060	4,619	574	17,216	△1,455	15,761
営業利益	170	174	181	10	537	△270	266